

中野区都市計画マスタープランの改定に係る第三回意見交換会について

1. これまでの意見交換会の実施状況

(1) 意見交換会の実施状況

延べ参加者数	290人		
実施状況	延べ30会場 で開催	第1回 6会場 119人（平成20年7～8月） 第2回 17会場 116人（平成20年10～11月） 第3回 7会場 55人（平成21年1～2月）	

(2) 意見提出用紙等を通じて寄せられた区民意見の状況

延べ意見数	238件	意見提出用紙 201件 メール・FAX等 37件
-------	------	-----------------------------

(3) 関連団体等との意見交換会の実施状況

延べ参加者数	延べ16団体 104人
対象: 東京商工会議所中野支部、中野区商店街連合会、まちづくり支援情報コーナー登録団体等	

2. 第三回意見交換会の結果

平成21年1月から2月にかけて開催した第三回意見交換会の結果は、以下のとおりである。

(1) 意見交換会の概要

会場	開催日	参加者数
南中野地域センター	平成21年1月23日(金)夜	0人
鍋横地域センター	平成21年1月26日(月)夜	7人
東中野地域センター	平成21年1月27日(火)夜	11人
江古田地域センター	平成21年1月28日(水)夜	8人
野方地域センター	平成21年1月29日(木)夜	4人
鷺宮地域センター	平成21年1月30日(金)夜	17人
区役所 7階会議室	平成21年2月1日(日)午後	8人
合計	—	55人

(2) 意見提出用紙等を通じて寄せられた区民意見の概要（意見提出用紙・メール・FAX等）

会場	提出人数	提出意見延べ件数
南中野地域センター	0人	0件
鍋横地域センター	3人	7件
東中野地域センター	3人	5件
江古田地域センター	4人	7件
野方地域センター	1人	3件
鷺宮地域センター	6人	14件
区役所 7階会議室	3人	3件
合計	20人	39件

意見提出方法	提出人数	提出意見延べ件数
メール・FAX等	5人(うち団体1)	22件

(平成21年2月9日現在)

(3) 区民意見の抜粋

(全体構想に関する意見を中心に抜粋した。)

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
目標(会場以外)	身近な生活空間からの発想と、広域的・鳥瞰的な発想とが相互補完関係にあることを序章で強調してください。(意見)	(用紙による意見)
目標(鷺宮)	中野のまちづくり方針は、10～20年後を考えると中野坂上付近の整備が重要だ。中野駅一極集中の開発は再考すべきだ。(意見)	(用紙による意見)
土地利用(鍋横)	サンモールとブロードウェイ地区について中野らしさは、ごちゃごちゃした多様な魅力が存することにあるので、そのことも賑わい・活力の中に盛り込んでほしい。(意見)	サンモールやブロードウェイ、中野五丁目の飲食店街など、地域の個性や界限性や風情を生かすことも必要で、素案にそうしたことも盛り込んでいます。
土地利用(区役所)	準防火地域内で耐火建物にした場合、容積率の緩和や道路斜線等の緩和を行うようなまちづくりを進めてほしい。(意見)	(用紙による意見)
活力(鷺宮)	西武新宿線の沿線まちづくりや中杉通りの整備では駅前商店街の活性化に十分配慮してほしい。ヨーロッパのように安心して雨が降っても歩けるモールの整備を行えば、賑わいが出ると思う。(意見)	ご意見として承りました。
住まい・住環境(区役所)	密集市街地は、狭あい道路が多く法定容積率を使いきれず、建替えが困難だ。建替え困難な地区について、建替え支援策や緩和による建替え誘導をしてほしい。(意見)	災害に強い市街地の形成に向けて、建替え促進の支援や、一定の条件を満たした優良建替えに対する規制緩和などのインセンティブの導入が必要だと考えます。
住まい・住環境(江古田)	江古田住宅等団地の建て替えにあたっては、中高層化を図りファミリー世帯が住めるようにしてください。(意見)	(用紙による意見)
住まい・住環境(会場以外)	住まい・住環境において、「建て詰まりの抑止」、「乱開発の抑止」を書き込んでください。(意見)	(用紙による意見)
安全・安心(鍋横)	都市型水害に強いまちづくりに関して、近年、1時間あたり100mmの降雨がしばしば起こるのに、50mmの降雨量対応の河川改修では問題ではないか。マスタープランに積極的な書き方はできないのか。(意見)	東京都の河川改修計画では50mm対応を原則としているので、まずは50mm改修を進める方針としています。それと合わせて妙正寺川の調節池整備や流出抑制対策を進める予定です。
安全・安心(鍋横)	中野は日本一の人口密度と聞く。特に本町地域では密集市街地が広がっている気がする。震災に対する危険度が高まっている中、ぜひ密集市街地の改善を最優先にしたまちづくりを進めてほしい。(意見)	首都直下型地震の危険性が指摘される中災害に強いまちの実現に向けた防災都市づくりは、中野区の最重要課題の一つだと考えて、都市計画マスタープラン素案に記述しています。
地球環境との共生(鍋横)	環境に配慮した都市づくりには、太陽光発電の積極的利用を盛り込んでほしい。都や区も積極補助すればもっと普及するはずで、CO ₂ 削減や防災上も有効だ。(意見)	区としても環境基本計画を定め環境負荷を少なくする取り組みの推進を位置づけたので、そうした方向で都市づくりに取り組んでいくことを考えます。
地球環境との共生(鷺宮)	21世紀にふさわしい省エネルギーを積極的に活用したまちづくりや、中野らしいまちの個性を大切にしたい整備方針を書き込んでほしい。(意見)	ご意見として承りました。

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
景観 (鍋横)	景観都市づくりの基本方針を盛り込んだことはとても良いことだ。ぜひ、景観まちづくりのガイドラインや実施の具体的物差しについても記載してほしい。(意見)	景観整備の方向について素案本文には一定程度記述しています。景観都市づくりの方針の記述はもう少し充実したいと考えています。
都市基盤 (江古田)	西武新宿線の連続立体交差化と沿線まちづくりに伴い、駅前広場や道路の整備を進めてください。(意見)	(用紙による意見)
都市基盤 (鷲宮)	防火対策や都市景観の改善の観点から共同溝による電線類の地中化を強く推進してほしい。(意見)	(用紙による意見)
推進方策 (鍋横)	都市計画マスタープランが、実効性をもつような改定を行ってほしい。(意見)	都市マス素案に都市マスの実効化のしくみについて盛り込んでいます。
推進方策 (東中野)	まちづくりの推進方策のことが書かれていることは良いことだ。地域で行っているまちづくりの取り組みを支援する条例等の仕組みや情報提供のなどをもっと具体的に示してほしい。(意見)	都市マス素案に、区民が身近な地区で取り組むまちづくりを積極的に推進する仕組みづくりについて盛り込んでいます。地区まちづくりや景観まちづくりなどの支援の制度化や条例化、まちづくりの情報提供について書き込んであります。
推進方策 (野方)	身近な地区毎に住民が協力し合ってまちづくりを進める必要性は理解できるが、そうした住民のまちづくりを、区は具体的にどうやって支援・担保していくのか、まちづくり条例を含む制度や事業による支援の仕組みづくりについて書き込んでほしい。(意見)	素案に盛り込んでいますように、区民主体のまちづくりを支援・促進するしくみづくりは重要だと考えます。
推進方策 (区役所)	都市づくりの推進策にまちづくり条例の制定の必要性を書き込んでほしい。(意見)	ご意見として承りました。
その他 (東中野)	区の方針は理想的に作られている。具体的なまちづくりは、住民が推進しなければいけないということが良くわかった。(意見)	(用紙による意見)

＜参考＞中野区都市計画マスタープランの改定について

（１）中野区都市計画マスタープランとは （都市計画法第18条の2に規定）

- 中野区の「都市計画に関する基本的な方針」。
- 「中野区基本構想」や「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（東京都策定）に即して定める。
- 都市計画は、本都市計画マスタープランに基づいて定めなくてはならない。

（２）改定の目的

- 現行の中野区都市計画マスタープラン策定（平成12年3月）以降の、中野区を取り巻く状況変化に対応した内容にするため改定する。
- 現行の都市計画マスタープランを基本的に踏襲しつつ、以下の事項に対応するため、必要な見直しを行う。
 - ①現行マスタープランの残した主要課題への対応 …災害に対する安全性確保等
 - ②社会経済状況の変化への対応 …地球環境問題、少子・高齢化、法制度改正等
 - ③中野区の新たな都市整備課題への対応 …中野駅周辺まちづくり、西武新宿線の連続立体交差化、国家公務員宿舎・小中学校の跡地有効活用
 - ④中野区の個性の強化
 - ⑤中野区基本構想（平成17年策定）等との整合性の確保

（３）改定の進め方

- 「中野区自治基本条例」に基づく区民参加を得ながら改定を進める。（意見交換会、パブリック・コメント手続）
- 専門的知見を有する学識経験者（専門協力員）から助言を受ける。
- 中野区都市計画審議会、区議会に対して随時報告する。

（４）これまでの経過と今後の予定

【これまでの経過】

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 平成20年 5月 8日 | 都市計画マスタープラン改定基本方針の策定 |
| 5月12日 | 区議会（建設委員会）報告 |
| 5月22日 | 都市計画マスタープラン改定の基本的な考え方の策定 |
| 6月11日 | 区議会第二回定例会（建設委員会）報告 |
| 6月19日 | 第1回専門協力員合同会議 |
| 7月16日 | 区議会（建設委員会）報告 |
| 7月23日 | 平成20年度第二回中野区都市計画審議会 報告 |
| 7月23日～8月7日 | 第一回意見交換会 |
| 9月 5日 | 区議会（建設委員会）報告 |
| 9月12日 | 第2回専門協力員合同会議 |
| 9月17日 | 平成20年度第三回中野区都市計画審議会 報告 |
| 9月19日 | 区議会第三回定例会（建設委員会）報告 |

10月20日 区議会（建設委員会）報告
10月27日～11月24日 第二回意見交換会
11月21日 平成20年度第五回中野区都市計画審議会 報告（素案について）
12月 4日 区議会第四回定例会（建設委員会）報告
12月12日 平成20年度第六回中野区都市計画審議会 報告
12月26日 都市計画マスタープラン改定素案の策定・ホームページ等公表
平成21年 1月 8日 第2回専門協力員合同会議
1月23日 区議会第一回定例会（建設委員会）報告
1月23日～2月1日 第三回意見交換会
2月12日 平成20年度第七回中野区都市計画審議会 報告

【今後の予定】

平成21年 2月～3月 都市計画マスタープラン原案の策定
3月 区議会第一回定例会（建設委員会）報告、案の確定
3月～4月 パブリック・コメント手続
4月～5月 中野区都市計画審議会・区議会 報告
5月 中野区都市計画マスタープランの決定

（別紙）第三回意見交換会における意見一覧

1. 意見交換会会場での意見一覧

平成21年1月26日【鍋横地域センターで出された意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
全般的事項	時代変化が激しい中で、中野らしいまちづくりにおいて、特に優先すべきポイントや具体的項目を示すべきではないか。（意見）	20年後の中野のまちを考える中で、取り組むべき項目にもれがないように記載する必要がありますが、都市整備の目標や分野別まちづくり方針に重点的に取り組む事項を強調して示しメリハリを付けています。
土地利用の方針	サンモールとブロードウェイ地区について中野らしさは、ごちゃごちゃした多様な魅力が存することにあるので、そのことも賑わい・活力の中に盛り込んでほしい。（意見）	サンモールやブロードウェイ、中野五丁目の飲食店街など、地域の個性や界索性や風情を生かすことも必要で、素案にそうしたことも盛り込んでいます。
土地利用の方針	建物の絶対高さ制度について記載してほしい。景観まちづくりを進める上でも絶対高さ制限は有効である。（意見）	（ご意見として承りました。）
土地利用の方針	郵政宿舎やNTT宿舎跡地は防災公園とする計画はあるのか。（質問）	具体的には現在検討中ですが、本町地区の防災上の課題を踏まえて整備計画をつくりたいと考えます。
景観都市づくりの方針	景観都市づくりの基本方針を盛り込んだことはとても良いことだ。ぜひ、景観まちづくりのガイドラインや実施の具体的物差しについても記載してほしい。（意見）	景観整備の方向について素案本文には一定程度記述しています。景観都市づくりの方針の記述はもう少し充実したいと考えています。
安全・安心の都市づくり方針	都市型水害に強いまちづくりに関して、近年、1時間あたり100mmの降雨がしばしば起こるのに、50mmの降雨量対応の河川改修では問題ではないか。マスタープランに積極的な書き方はできないのか。（意見）	東京都の河川改修計画では50mm対応を原則としているので、まずは50mm改修を進める方針としています。それと合わせて妙正寺川の調節池整備や流出抑制対策を進める予定です。
安全・安心の都市づくり方針	中野は日本一の人口密度と聞く。特に本町地域では密集市街地が広がっている気がする。震災に対する危険度が高まっている中、ぜひ密集市街地の改善を最優先にしたまちづくりを進めてほしい。（意見）	首都直下型地震の危険性が指摘される中、災害に強いまちの実現に向けた防災都市づくりは、中野区の最重要課題の一つだと考えて、都市計画マスタープラン素案に記述しています。
環境と共生するまちづくり方針	環境に配慮した都市づくりには、ぜひ太陽光発電の積極的利用を盛り込んでほしい。私の家は国の補助を受けてソーラー発電を導入した。東京都や区も積極補助をすればもっと普及するはずで、CO ₂ 削減や防災上も有効である。（意見）	区としても環境基本計画を定め環境負荷を少なくする取り組みの推進を位置づけたので、そうした方向で都市づくりに取り組んでいくことを考えます。
環境と共生するまちづくり方針	雨水の利用を含む、地域の水資源や水循環の活用も考えてほしい。（意見）	（ご意見として承りました。）
都市基盤整備の方針	中野は23区内でも自転車保有台数は一番多い部類に入ると思う。自転車駐輪場対策を積極的に進めてほしい。また、環境にやさしい乗り物なので、自転車専用道路の整備も積極的に進めてほしい。（意見）	区内の自転車駐輪場は、各駅前の必要台数の整備は概ね達成しており、新中野駅はこれから整備します。自転車利用環境の向上のため、道路交通法の改正も踏まえ、自転車レーンなどの整備を進めます。

地域別まちづくり方針	今回、こうした地域区分ははじめて聞いたが、何故このように設定したのか教えてほしい。(質問)	都市マス改定では、都市整備課題に即して、改定前の地域区分をいくつか束ねるかたちで設定しました。南部地域は、方南通りと中野通りの交差点を中心とする区域、中南部地域は、新中野駅や中野新橋駅の周辺とした区域を設定しています。
都市づくりの推進方策	都市計画マスタープランの策定後、具体的にまちが変わったという実感が無い。ぜひ実効性をもった改定を行ってほしい。(意見)	都市マスの方針に従って、平和の森公園、江古田の森公園が整備され、山手通りや方南通り(一部)も拡幅整備されました。環状七号線の地下調節池の整備もできました。また、南部防災公園も具体化してきています。住宅地には敷地面積の最低限度も適用されたりして、実際には、まちは変わってきています。都市マス素案に都市マスの実効化のしくみについて盛り込んでいます。
都市づくりの推進方策	都市計画マスタープランにおいても、20年先までにどのようなステップで達成していくか、計画項目や実施評価項目を書き込んでおいたら良いのではないかと。(意見)	新しい中野をつくる10か年計画で、年次別の計画や事業項目、評価項目等を示すことを予定しています。
都市づくりの推進方策	区の取り組みの強化に関して、消極的な書き方になっていると思う。まちづくり条例の制定や具体的枠組みの提示などを書き込むべきではないかと。(意見)	(ご意見として承りました。)
都市づくりの推進方策	身近な地区を単位とするまちづくり方針について、地域的にまとまりがあるまちづくりや地域の連帯感を生みだすまちづくりとの関係では課題があると思う。(意見)	東中野の氷川地区に建築協定がかつてありましたが、より良い住環境の形成に向けては、こうした身近な地区単位のまちづくりを積み重ねていく必要があります。身近な範囲のまちの課題を地域で共有して、共同の建築規制やまちづくりのルールをつくるのが効果的であると考えます。
改定の進め方	前の都市計画マスタープランは地域センター毎の区民参加で策定された。今回はそうした手続きで行っていないと思う。(意見)	中野区自治基本条例に基づく区民参加を通じて改定を進めています。
その他	10か年計画と都市計画マスタープランとのすりあわせは行っているのか。(質問)	都市計画マスタープランを具体化する施策や事業等を10か年計画に位置づけていくこととなりますが、相互に調整を行いながら改定を進めています。

平成21年1月27日【東中野地域センターで出された意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
土地利用の方針	土地利用方針に関して、大きく変わっているようだが、用途地域や容積率の緩和や、高度地区の見直しで、建替え促進を図るようにしているのか。(質問)	土地利用の方向性は書いていますが、具体的な用途地域の見直しについては書いていません。建物共同化や狭あい道路拡幅による建替え促進を図ることは盛り込んでいます。商業系用途地域と住居系用途地域が極端に変わる場所は、段階的な用途地域指定やまちのルール導入などを図ることを盛り込んでいます。

良好な住まい・住環境づくりの方針	ファミリー層を増やすと言うが、小中学校の学区再編計画と矛盾しているのではないか。都市整備と教育行政と調整してほしい。(意見)	学区再編は教育委員会の所管ですが、都市整備を含めた区長部局の各施策と調整の上で進めています。
地域別まちづくり方針	センター・コア再生ゾーンとはどのような意味か。(質問)	東京都の広域的計画の中で、都心3区の外側を東京都心の一翼を担うゾーンとして位置づけています。区内では環状6号線東側がこのゾーンとなっています。
地域別まちづくり方針	センター・コア再生ゾーンには具体的な土地利用規制や建築制限はあるのか。(質問)	特にありません。
地域別まちづくり方針	東中野駅の西口が便利になることは結構であるが、東口はバリアフリー等や南北の回遊性も考慮して、安心して利用できるようにしてもらいたい。(意見)	東口のバリアフリー化は課題と認識しており区からもJR等に要望しています。また、東口と西口や線路の南北の人の回遊性に配慮したまちづくりが必要と考えます。
地域別まちづくり方針	東中野駅の西口に駅前広場ができることであるが、具体的にどのような計画か。(質問)	山手通りに面して駅前広場を整備し、広場と駅舎との間にある空間に人工地盤をつくり、歩行者通路と駅ビルをつくる計画です。平成26年度の完成を目指しています。
地域別まちづくり方針	東中野小学校が閉校になって、小学生は大きな幹線道路を渡らないと通学できなくなった。子供たちが通学の安全の確保について書き込んでほしい。(意見)	都市計画マスタープラン素案では、歩行者が安全・快適に歩ける道路整備に関して、都市基盤整備の基本方針に書いています。
地域別まちづくり方針	東中野小学校の跡地は具体的にどのように整備していくのか、考えを聞かせてほしい。(質問)	今後検討していく予定と聞いています。都市計画マスタープランには具体的なことは書き込んでいません。ご要望があれば教育委員会や担当部所に伝えていきます。
地域別まちづくり方針	東中野1丁目地区は、山手通りの拡幅で街並みが大きく変わってきている。地域で努力して緑の保全や街並み形成に努めてきたところなので、区はこうした取り組みを応援してほしい。(意見)	センター・コア再生ゾーンであるとは言え、すぐ西新宿のような街並みになるということではなく、地区の特性を考慮し、緑や景観など守るべきものは守っていく取組みは必要だと考えます。同時に、木造密集地域の改善によりまちの安全を高めることも重要だと考えます。
地域別まちづくり方針	区民活動センター計画と、都市計画マスタープランとはどう関係してくるのか。(質問)	都市計画マスタープランは、公的施設である区民活動センターの計画とは直接関係しません。
都市づくりの推進方策	氷川地区の元建築協定区域に住んでいる。この地区は住民が長年努力して、緑の多い良好な住環境を守ってきた。住民が協力し合って守っていかなければ、この地区は、マンションが建つエリアになってしまう。区は区民のこうした地域を守っていく取り組みを応援してくれるのか。(質問)	土地を所有する方々がどのような利用をしたいかという意向次第ですので、地区でまとまって住環境保全のまちづくりの取り組みを提案して頂ければ、区は支援していきます。ワンルームマンションに対しては、周辺環境への配慮や地球環境への配慮など、条例化を含めて検討していきます。
都市づくりの推進方策	まちづくりの推進方策のことが書かれていることは良いことだ。地域で行っているまちづくりの取り組みを支援する条例等の仕組みや情報提供のなどをもっと具体的に示してほしい。(意見)	都市マス素案に、建築協定等の区民が身近な地区で取り組むまちづくりを積極的に推進していく仕組みづくりについて盛り込んでいます。地区まちづくりや景観まちづくりなどの支援制度や条例化、まちづくりの情報提供について書き込んであります。

都市づくりの推進方策	小さな単位でのまちづくり支援には、どの程度の範囲や人数の場合にしていく考えなのか教えてほしい。(質問)	建築協定や地区計画、あるいは横浜市のような市が認定するまちづくりルールなど、手法は色々あるので一概には言えません。一定の条件など制度的な枠組みを定める必要はあると考えます。
改定の進め方	区報特集号はいつ配布されるのか。(質問)	3月～4月にかけて行うパブリックコメントの特集号として、区報を3月に全戸配布したいと考えています。
改定の進め方	上高田地域センターで意見交換会を行わないのは残念です。(意見)	(ご意見として承りました。)
その他	小中学校の再編について、都市計画マスタープランで書き込んで良いのか。(質問)	学校再編に関しては教育委員会を含めた庁内全体で決めます。再編によってできた跡地を周辺環境に配慮して有効利用することについては都市マスで書けます。

平成21年1月28日【江古田地域センターで出された意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
全般的事項	素案は、大変良い文章でまとまっており、良いことがたくさん書かれている。(意見) 区は、住みやすいまちとはどのようなまちを考えているのか。また、区民の住みやすさや、みどりの保全に対して、具体的にどのように実現していくのか。(質問) 土地本位制のわが国では、経済効率性が優先され、相続による土地の分割でみどりや良好な住環境がどんどん失われているので実現に向けた具体的な方策を書き込んでほしい。(意見)	住みやすさに関して、まず安全に住めるまちの実現が第一条件と考えます。うるおいをもって、安心して住めることも重要だと考えます。相続で敷地の緑が失われる現実には認識しています。区の緑の実態調査で、区内のみどりの多くは、個人の敷地の樹木にあることがわかりました。敷地内のみどりを残していきたいと考えています。みどりの協定や保護樹林、保護樹木の保全を積極的に進めることなどが重要です。
全般的事項	23区の中の中野という特色がはっきり出るような、中野区の独自のものをもっと積極的に書き込んだらどうか。(意見)	警察大学校等跡地のまちづくりや国家公務員宿舎跡地、西武新宿線連続立体交差のまちづくりなどは中野の特色と言えます。
土地利用の方針	土地利用方針図における緑色の低層住宅地区は、どのような住宅地を想定しているのか。(質問)	2～3階建て以下の低層住宅地を想定しています。周辺環境に配慮した計画的な建築は、環境への貢献度に応じた緩和が可能です。
土地利用の方針	土地利用方針図における黄色の中層住宅基盤改善地区はどのような住宅地を想定しているのか。(質問)	狭あい道路が多い密集市街地を含み、オープンスペースの確保や狭あい道路の拡幅、建物の不燃化・耐震化を進める地区、街区再編まちづくりが必要な地区などです。
活力を生み出す都市づくりの方針	中野で働くということに関してどのように考えているか。(質問)	仕事を持つ区民が約13万人であるのに対し区内で働く就業者は約11万人と、区外流出が過多の状況です。もう少し区内就業者を増やしたいと考えます。そのため、まちの拠点等でその受け皿となる土地利用の誘導などを進めます。
安全・安心の都市づくりの方針	木造密集市街地が区内には非常に多い。災害危険度が高い地区についてホームページに掲載されていたが、具体的にどのように進めていくのか。(質問)	資料の10頁に具体的に示してあります。建物の耐震・不燃化、オープンスペースの確保、街区再編まちづくり、防災基盤施設の整備、緊急輸送道路沿道の耐震化、防災公園の整備などが挙げられます。

安全・安心の都市づくりの方針	建物の共同建替えによるオープンスペースの確保などは、個人個人で進めていくことは難しい。まちの中に専門家が入り込み区と協力し合って改善していく、専門家派遣などの仕組みをぜひ考えてほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
地球環境と共生する都市づくりの方針	江古田の森を残すために地域でいろいろ努力してきた。公園の南側にある江古田合同住宅がなくなり、団地内の緑がなくならないか心配している。豊かな緑をぜひ保全してほしい。(意見)	江古田合同住宅用地は、都市再生機構に売却され、現在整備方向を検討中です。広域避難場所に位置づけられているので、できるだけ緑・オープンスペースを残すよう区は要望しています。
地球環境と共生する都市づくりの方針	みどりの保全については、江古田の森の保全の歴史や経緯を踏まえ、子供たちに「こういう理由だから次の世代にも残さなければならぬ」ということが分かるよう、次世代のことも考えて書いてほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
地球環境と共生する都市づくりの方針	みどりを実効的に増やすため、緑被率や緑視率の数値を都市マスに盛り込むべきだ。(意見)	(ご意見として承りました。)
景観都市づくりの方針	都市計画道路中野通りの整備に伴って、野方給水塔が壊されてしまわないか心配だ。長らく地域のランドマークとして愛されている。近代化遺産という言葉で景観都市づくり方針等の中に給水塔の保存について書き込んでほしい。(意見)	そのような地域で育んできた愛着を持たれている歴史文化遺産は、保全する必要性を認識しています。都市マス素案でも歴史文化遺産の保全を記述する箇所に野方給水塔の写真を掲載しています。
景観都市づくりの方針	街路樹の保全等について、景観都市づくりのところは記述が少ない。(意見)	環境と共生するまちづくりの方針図において、みどりの軸やみどりの環境軸として示してあります。
都市基盤整備の基本方針	江古田から沼袋等へのアクセス道路の整備について、ぜひ書き込んでほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
地域別まちづくりの方針	北東部の地域別まちづくり方針は文章が少ない。(意見)	ご指摘のとおり、もう少し内容を充実したいと考えています。
地域別まちづくりの方針	活力を生み出す都市づくりとの関係では、中野駅周辺ばかりではなく、江古田周辺の商店街の活性化や活力づくりについても目を向けて書いてほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
都市づくりの推進方策	台東区谷中で、地域のコミュニティ活動が熱心で、防災や防犯のまちづくりに大きく貢献している。都市整備だけでなく、そうした地区住民の取り組みを積極的に支援するソフトなまちづくりの推進策も必要だと考える。(意見)	地区住民によるまちづくりとの関係では、中野区には建築協定やまちづくり協定が全くなく、地区でのまちのルールづくりが進んでいません。身近な地区を単位とするまちづくり活動への支援や促進のための仕組みづくりが必要だと考えます。
都市づくりの推進方策	まちづくりは都市計画だけではないので、縦割り行政ではなく、横の組織連携もきちんと行って進めてほしい。(意見)	庁内で横断的に緊密な調整を図りつつ進めています。
改定の進め方	今回の意見交換会では、これまでの区民意見の資料を配布してほしい。(意見)	全意見をホームページで公表し、地域センターにも閲覧できるように置いています。

改定の進め方	上高田地域センターでも意見交換会を行ってほしかった。(意見)	(ご意見として承りました。)
その他	区内在住でない職員がマスタープランをつくることに関して、本当にわが町中野という意識を持っているのか心配だ。(意見)	区内在住の職員は半数未満だとは思いますが、区内在住でないとしても、中野をより良くするため、区内在住の職員と同様にあるいはそれ以上に、中野に愛着と熱意を持って都市整備の施策遂行に取り組んでいますので、ご理解願います。

平成21年1月29日【野方地域センターで出された意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
良好な住まい・住環境づくりの方針	住環境の改善などで「街区再編まちづくり」とあるが、具体的な実施方法はどのようなことか。(質問)	中層住宅基盤改善地区など木造密集市街地には建替えが困難な敷地も多くあります。広い範囲の地区計画だけではなく、より身近な範囲の地区単位でのミニ区画整理や共同建替えなどを通じた道路の拡幅やオープンスペースの創出を積極的に支援・推進することを考えています。
安全・安心の都市づくりの方針	防災上課題がある地区に関しては、地区計画を積極的に導入するなど、都市整備の目標をはっきり記載してほしい。(意見)	地区計画による防災まちづくりは確かに有効ですが、まちの安全性を高めるには、地区計画だけでなく様々な手法を組み合わせ活用していくことが適当だと考えます。
都市基盤整備の方針	幹線道路の整備の記述で「新設の都市計画道路」とあるが、上鷲宮の補助215号線も含まれているのか。(質問)	既存道路を拡幅する道路ではなく既定都市計画道路のうち新設整備する区間の意味です。中杉通り(妙正寺川以南)や中野通り(新青梅街道以北)などを想定しています。
地域別まちづくり方針	野方地域では味噌工場跡地に接する道路を広げる方針を都市マスで盛り込んでいたにも関わらず、道路が拡幅されないままマンションが建った。今後はマスタープランで記載している方針がきちんと活かされるまちづくりを進めてほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
都市づくりの推進方策	身近な地区を単位とするまちづくりとはどのようなことか。(質問)	現行都市マスでは15地域センターの区域を単位としてまちづくりを進めるとしていますが、それでは住民合意の単位として広過ぎるため、合意形成は現実的には困難です。実際にまちのルールづくりなどはほとんどされませんでした。もっと身近な近隣や街区を単位としてまちのルールづくりなどを進めることが必要だと考えます。そうした区民の取組みを区は積極的に支援します。
都市づくりの推進方策	身近な地区毎に住民が協力し合ってまちづくりを進める必要性は理解できるが、そうした住民のまちづくりを、区は具体的にどうやって支援・担保していくのかわかりにくい。ぜひまちづくり条例を含む制度や事業による支援の仕組みづくりについてしっかり書き込んでほしい。(意見)	素案に盛り込んでいますように、区民主体のまちづくりを支援・促進するしくみづくりは重要だと考えます。

都市づくりの推進方策	協働のまちづくりの進め方の表にある地区に関わるまちづくりの適切な情報提供、地区のルールづくりの支援、計画を実現する実践段階での区民のまちづくりの支援について、具体的な内容を書き込んでほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------

平成21年1月30日【鷺宮地域センターで出された意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
土地利用の方針	現行都市マスでは「まちの心」(しん)という書き方をしていたが、今回は拠点という書き方になっている。拠点は開発のイメージがあるがなぜ変えたのか。(質問)	「心」はふり仮名を付けない限り「しん」とは読めず、一般的にわかりにくい用語です。「みどりの拠点」も含めて「拠点」と、よりわかりやすく改めました。
土地利用の方針	拠点の種類はいろいろあるが、西武新宿線沿線は駅毎にまちづくりの課題は違うので課題をうまく反映してほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
活力を生み出す都市づくりの方針	西武新宿線の沿線まちづくりや中杉通りの整備では駅前商店街の活性化に十分配慮してほしい。ヨーロッパのように消費者が安心して雨が降っても歩けるモールのような整備を行えば、賑わいが出ると思う。(意見)	(ご意見として承りました。)
良好な住まい・住環境づくりの方針	狭あい道路の拡幅・セットバックをきちんと行ってほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
安全・安心の都市づくりの方針	都営鷺の宮アパートは居住者の多くが単身高齢者なのに、周辺に高齢者のための施設が少ない。エレベータの設置も少なく、防災上課題がある。都市マスでは、高齢者が安心して暮らせるまちづくりとの関係でどう考えているのか。(質問)	だれもが安全に安心して暮らせる都市づくりの推進は都市マス素案に盛り込んでいます。都営鷺の宮アパートの設備や形態については素案に記述していません。
地球環境と共生する都市づくりの方針	21世紀にふさわしい省エネルギーを積極的に活用したまちづくりや、中野らしいまちの個性を大切にしたい整備の方針を書き込んでほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
地球環境と共生する都市づくりの方針	水とみどりのネットワークづくりにおいては、地下水脈への配慮を書いてほしい。例えば中杉通りの事業化や西武新宿線の連続立体交差事業でも事前に地下水脈の調査を行って進めてほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
景観都市づくりの方針	都営鷺の宮アパートは、これまで4階建だったが、いきなり11階建になってしまった。これは景観まちづくりに資すると言えるのか。(質問)	東京都の広域的な観点からの団地計画と土地の有効利用、地域環境との調和などから総合的に決めていく中で、そのような建替え計画となったと聞いています。
景観都市づくりの方針	景観配慮や防災都市づくりの観点から、ぜひ共同溝による電線類の地中化を盛り込んでほしい。(意見)	電線のない通りは景観整備に寄与します。幹線道路沿いはそうした都市基盤整備を進めていくように考えて都市マス素案に盛り込んでいます。

地球環境と共生する都市づくり方針	中杉通りの都市計画道路は、白鷺の屋敷林や八幡神社の森を通る計画となっている。貴重な緑や樹木が失われないか心配だ。貴重なみどりを次世代に引き継いでほしい。(意見)	中杉通りの都市計画は東京都の広域的な道路計画の中で既に決定されています。事業化にあたってはみどりの保全や街路緑化などを都に要望していきたいと考えます。
都市基盤整備の方針	中杉通りの整備に関して、都市計画としての事業化に向けた計画と将来まちづくり方針としての都市マスとでは性格が違うと思う。都市マスでは、もっと地区住民の声を反映した記述を行ってほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
都市基盤整備の方針	活力や賑わいづくりで商店街を発展させるのであれば、ぜひ駐車場の整備方針も盛り込んでほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
地域別まちづくり方針	中杉通りは、西武新宿線の南側は新しいバイパス道路が通る計画になっている。西武新宿線の連続立体交差のまちづくりときちんと連携して進めてほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
地域別まちづくり方針	中杉通りの事業化に向けては、地区住民と十分に議論し合意形成して進めるようマスタープランにも書き込んでほしい。一部の人たちの意見だけが反映されるまちづくりにならないようにして下さい。(意見)	(ご意見として承りました。)
地域別まちづくり方針	西武新宿線の連続立体交差化と沿線まちづくりとの関係で、鉄道は地下化するとなっていないがどうか。(質問)	都による連続立体交差事業の構造形式の検討に基づいて決定されることとなります。区としては地下化を要望しています。
地域別まちづくり方針	都営鷺の宮アパートの調節池について「上部を利用したみどりのオープンスペースの確保」とあるが、調節池のふたがけを前提としているのか。(質問)	区は東京都に対してふたがけを要望しているところです。
都市づくりの推進方策	協働のまちづくりは区民と行政で行うものではないか。企業・事業者が協働まちづくりの中に出てくるのはおかしい。(意見)	商店の方々を含めて事業者・企業は中野のまちの重要な主体の一人です。事業者の果たすべき社会的貢献には地域社会への貢献も含まれますし、区民・行政だけでなく事業者・企業もともに協働してまちづくりを進める必要があります。

平成21年2月1日【区役所で出された意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
土地利用の方針	土地利用方針図で、囲町地区が赤色になった経緯を教えてください。(質問)	囲町地区の方々とまちづくりの勉強会を進めていますが、地区の方々は、警察大学校等跡地の開発を踏まえた、かつ中野駅前立地を活かした土地利用への意向が強いことから、素案のように設定しています。
良好な住まい・住環境づくりの方針	野方などの木造密集市街地では、狭あい道路が多く、道路幅員に応じた制限で法定容積率を使いきれず、建替えが困難となっている。建替え困難な地区については、区は独自の建替え支援策や緩和による建替え誘導を図ってほしい。(意見)	ご指摘の点は都市整備上の課題の安全・安心のまちづくり項目にも記載しています。災害に強い市街地の形成に向けて、建替え促進の支援や、一定の条件を満たした優良建替えに対する規制緩和などのインセンティブの導入が必要だと考えます。

都市基盤整備の方針	大和町中央通りは幅員16mの都市計画道路が計画されているが、実際に拡幅整備を行うことは難しいと考える。都市計画道路の廃止をマスタープランで書くことはできないのか。(意見)	大和町中央通りは都の広域交通計画のもとに決定されています。区としてはこの道路は、西武新宿線の連続立体交差事業などと直接関係が深い等から、整備が必要だと考えています。
地域別まちづくり方針	中野3丁目のまちづくりに関して、桃丘小学校跡地について住民意向を反映できるようにまちづくり協議会をつくってほしいと要望したが叶わなかった。住民の意向を反映したまちづくりが進められるように方針にも書き込んでほしい。(意見)	桃丘小学校跡地は産業関連施設、文化芸術活動拠点等として利用することが10か年計画の中で位置づけられています。中野3丁目のまちづくりに関しては意見交換会を実施しています。中野駅のあり方等が具体化する中で、地区の皆さんと協議する機会を持ちたいと考えています。
都市づくりの推進方策	都市づくりの推進策にまちづくり条例の制定の必要性を書き込んでほしい。足立区のまちづくり推進条例では、区民や事業者、区長の責務も書いてあるので参考にしてほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
改定の進め方	都市計画マスタープランは、杉並区や新宿区とも関係があるので、近隣区の住民へ説明することが必要だと思う。杉並区民も中野区マスタープラン素案に意見を出せることができるのか。(質問)	意見交換会への参加を中野区民に限定していません。また、個人情報保護の観点から区民かそうでないかを把握していません。区民であるかそうでないかに関係なくご意見は伺ってきています。
改定の進め方	パブリックコメントでも区民の意見を十分反映してほしい。(意見)	現在が素案から案にまとめ上げる段階ですから、今ぜひご意見をください。
次回以降の見直し手続き	警察大学校等跡地の土地利用方針は、以前区民がよくわからないうちに、一部修正されたことがあったので、都市計画マスタープランの見直しの具体的手続きに関してもきちんと書いてほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
次回以降の見直し手続き	都市マスに書いたことが、勝手に変更されるようなことがないようにしてほしい。(意見)	都市計画マスタープランの改定は、自治基本条例に基づく手続により区民の皆さんの意見を伺いながら行うこととなります。
次回以降の見直し手続き	区民から都市計画マスタープランの改定要望が出た場合、それが反映されるようにしてほしい。(意見)	(ご意見として承りました。)
その他	都市計画マスタープランとみどりの基本計画の改定のスケジュールに関して教えてください。(質問)	都市マスは3月に案としてまとめ上げてパブリックコメント手続に入る予定です。案の概要を掲載する区報特集号を発行し全戸配布します。5月頃に改定する予定で考えています。みどりの基本計画は、現在素案をまとめている段階です。今後意見交換会を行った後、案をまとめてパブリックコメント手続を行う予定です。

意見は要点を整理したものであり、また、整理の関係から、一人の意見を複数に切り分けたりしています。

2. 用紙提出用紙等による意見一覧

(1) 意見交換会会場で提出された意見

意見交換会実施日	意見の要旨	会場等
平成21年 1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に良くまとまっています。しかし、地区の状況を見ると過密が進んでいるので実効性あるマスタープランにしてください。 ・20年後を考えた都市計画の方針とのことですが、まちづくりの具体的な優先順位がわかりにくいです。 ・「次世代に適合するまちづくりとは何か」ということを深く、強く考慮してほしい。 ・水資源や水循環についても都市づくりとしてウエイトがあるべきだ。 ・まちづくり計画には進捗の評価があつてしかるべきで、課題を再度十分検討してほしい。 ・まちづくりには財政的裏付けを年次ごとに算出して計画されるべきである。 ・規制緩和の声が強いが、規制のまちづくりを進めないと住環境が悪化してしまう。規制をどのように担保するかが課題だ。 	鍋横地域センター
平成21年 1月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・区の方針は理想的に作られているが、具体的なまちづくりは、住民が推進していかなければいけないということが良くわかりました。 ・今の時代住民が意見を一致させ、区に提案していく作業はとてもしんどいと思います。区民としても頑張りますが、区側も、区民の意思を十分踏まえてよりよい中身あるまちづくりを進めてください。 ・東中野駅の東口側の安全・安心のまちづくりの整備をお願いします。 ・東中野駅周辺の整備に関して、区民の考えを聞いていくとのことですが、東中野駅前のもつポテンシャルを考えると、区はもっと積極的な整備方針を示すべきで、再開発促進として1.5号から2号地区に格上げすべきではないか。 ・東中野小学校跡地の利用について一番心配しています。地域のためになる計画をお願いします。 	東中野地域センター
平成21年 1月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に言葉はきれいですが、枝葉の内容が多く、どこが幹なのか、都市計画と人とのかかわりが良くみえません。都市は人のためにあると思います。 ・前回は都市計画マスタープラン策定に区民として参加しました。今回はその機会がなく残念です。概要版をよく拝見して地域住民としての意見を申し上げたいと思います。 ・縦割りのまちづくりではなく、横割りのまちづくりで進めてください。 ・江古田住宅の建て替えにあたっては、ある程度中高層化を図りファミリー世帯が住めるようにしてください。 ・西武新宿線の連続立体交差化と沿線まちづくりに伴い、駅前広場や道路の整備を進めてください。 ・参考資料の公開を評価します。区民との情報の共有が上手くいきます。 ・都市マス策定後に、その達成度について区と区民が協働で評価し・共有できるしくみづくりを行ってほしい。 	江古田地域センター
平成21年 1月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・妙正寺川は貴重な景観資源であり、水や緑が多く災害に強い整備を進めてほしい。また兩岸を遊歩道にしてほしい。 ・孫が来たとき遊びにいけるような広い公園を鷺宮か、都立家政、野方駅の北側につくってほしい。 ・リバーズモーゲージによる公共整備を盛り込んでください。 	野方地域センター

平成21年 1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・中野のまちづくり方針では、10年後、20年後を考えると中野坂上付近の整備が重要だと考えます。中野駅一極集中の開発は再考すべきだ。 ・防火対策や都市景観の改善の観点から共同溝による電柱類の地中化を強く推進してほしい。 ・中野区の南北交通網の整備も重要な課題で、中野通りに地下鉄を通すことが望まれる。 ・千川通りが一車線で交通渋滞が起きているので、拡幅の再計画を求める。 ・西武新宿線は地下化してほしい。 ・西武新宿線の連続立体交差化においては、駅前の利用機能を第一に、国、都、区の資金投入のあり方を十分検討し、地域コミュニティにも配慮したまちづくりを進めるべきだ。 ・中杉通りの問題は地域での検討を要する。 ・中杉通りの整備で、杉並区側から中野区で大きくカーブさせて整備するのは交通事故の心配があり、また歴史ある神社敷地を壊すのはいかなものか、再考願いたい。 ・鷺宮・都立家政のまちをどのように変えていくのか具体的なものが見えてこない。 ・都営鷺の宮アパートの高層化や、1DK・2Kの建替え整備には大きな危惧感をもっています。高齢者にやさしいまちづくりは誰が責任をもって行うのでしょうか。 ・保護樹木や八幡神社の森を削る都市計画道路の整備には反対です。樹木も森も地域の宝です。 ・地下水脈資源の保全と交通問題の解決を可能な限り両立させた施策を切望します。 ・武蔵台児童館の跡地と隣接する畑については、地区の緑の保全のためにも公園としてぜひ残してほしい。 ・上鷺宮地域センターのそばでマンション計画が出ていますが、地区まつり等で地域住民が使えるオープンスペースの確保を進めてほしい。 	鷺宮地域センター
平成21年 2月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・準防火地域内の建物で耐火建物にした場合、容積率の緩和や道路斜線等の緩和を行うようなまちづくりを進めてほしい。 ・警察大学校跡地のまちづくりでは、高層建物の風害対策（風害・音）をどのように考えているのでしょうか。 ・警察大学校跡地のオフィスゾーンと同様に、周辺地区においてもマンションの容積率や商業施設の面積を増やしてほしい。 	区役所

意見は要点を整理したものであり、また、整理の関係から、一人の意見を複数に切り分けたりしています。

(2) 意見交換会会場以外で提出された意見

提出日	意見の要旨	用紙・電話・FAX
平成21年 1月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路（中杉通り）整備にあたっては、具体的に整備するメリットを数値やデータで説明してほしい。 ・環境配慮等を考えると車の所有は減ってくるので都市計画道路の整備を推進するメリットはどれだけあるのか疑問だ。 	用紙
平成21年 1月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路（中杉通り）の整備について、神社や屋敷林が多く残る住宅地内に新設の道路を通すより、現在ある中杉通りを16m程度に拡幅整備するように都市計画変更するよう要望します。都市マスにそのことを記載してください。 	用紙

平成21年 1月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・素案における序章1「位置づけと役割」の図中の「上位計画」という表現は、適切ではないので矢印とともに訂正してください。 ・身近な生活空間からの発想と、広域的・鳥瞰的な発想とが相互補完関係にあることこそ、序章で強調してください。 ・都市計画の重要性を図中に入れてください。また「関連計画」に「都市景観ガイドライン」を入れてください。 ・「まちづくりの実践」が主役であり、法定の都市計画制度はそれを支える一部であることを、表現してください。 ・「まちづくりにおける協働のありかたの指針」、「他の公共機関への方針説明」、「震災時の復興計画」等の機能も都市マスの重要な役割なので割愛することなく記述してください。 ・「将来の都市計画の決定を見据えてマスタープランを定める必要がある」という文脈は、都市マスのもつべき制御機能を弱める方向の記述となるので改めてください。 ・資料編は序章に組み入れてください。 ・「都市整備上の課題」の「活力」において、高齢者も地域資源ととらえる発想の転換を求めます。 ・「住まい・住環境」において、「建て詰まりの抑止」「乱開発の抑止」を書き込んでください。 ・景観において「住宅市街地の景観の向上」を挙げてください。 ・「イメージ」において「猥雑性」を積極的の魅力として定義し発想の転換をお願いします。 ・全体構想において、景観を含む社会ストックの良質化や文化的発想力の強化を中心に「魅力の醸成」の理念を4本柱の1つに入れてください。 ・全体構想の「都市整備の目標」に「世代間の交流がなされる志向」「高齢者も含め全世代がいきいきとしたまちへの志向」を目標として掲げてください。 ・新井薬師、鷲宮など「生活拠点」として定義しなおすなど、「交流拠点」を洗いなおしてください。 ・サンモールやあいロードなど裏道ネットワークによる回遊性を加味した歩行者空間のネットワークも考慮してください。 ・山手通りを都市構造の骨格に、歩道の広さを十分にまちの豊かさをさらに活用すべく都市軸として描いてください。 	用紙(団体からの要望)
平成21年 1月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン改定素案で示された土地利用方針図で、住工共存地区の指定に賛成です。産業活性化に合致しますし、大規模小売店舗など生活に便利な施設の進出も図られ、地域全体の利便性の向上も図られます。 	用紙
平成21年 2月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の道路や幹線道路の歩道や生活道路に、日常的に陳列される商品や私物が、安全な歩行空間の障害となっている。こうした課題への対応についても考慮してほしい。 	FAX
平成21年 2月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保護・自然保護、地球温暖化防止の立場から白鷺1丁目の保護樹木や屋敷林の保護を優先させた都市計画方針を考えてほしい。 	郵送
平成21年 2月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・北東部地域、中東部地域などの地域名称に違和感がある。もう少し風情や歴史を感じる名称を考えてほしい。 	用紙

意見は要点を整理したものであり、また、整理の関係から、一人の意見を複数に切り分けたりしていません。

(平成21年2月9日現在)